

嬉野小学校学校訪問記

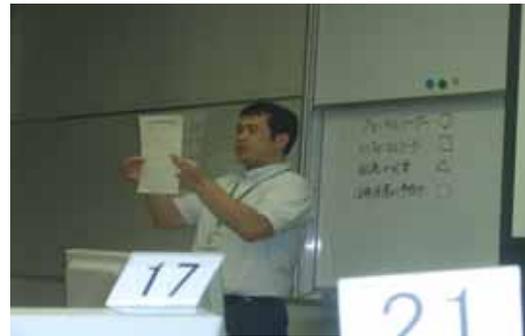
22.8.10

藤津教育事務所 橋本 良子

魅力たっぷりの研修会

「『Q - U』(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の結果を活用した学級作り」についての研修会に参加しました。この研修会は、子どもたちの心情や学級の実態を、よりきめ細かく客観的に把握し、これからの支援・指導に生かすことを意図して行われたものです。

嬉野小学校では、5月に「Q - U」を実施されており、今回はその結果の解釈や今後の活用、実際の取り組みなどについて、教育センターの樋渡先生をお迎えしての研修会でした。



学級生活における満足度を見る『いごちのよいクラスにするためのアンケート』と学級生活における意欲をみる『やる気のあるクラスを作るためのアンケート』の結果からわかることを話されています。

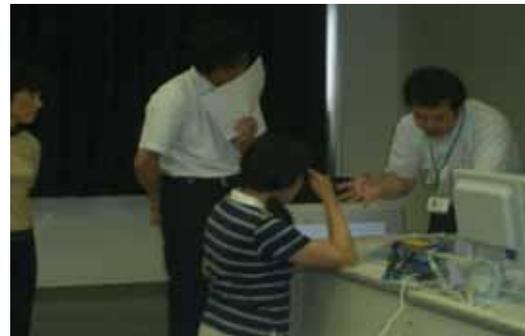
一人一人の子ども的心情と実態、学級のタイプ、個人と学級集団の関係、について知ることができます。学級のタイプは、ルール(安心して生活するためのルール)の確立やリレーション(あたたかい人間関係)の形成がどれくらいできているかによって分析ができます。



リーダーの確認、交友関係の確認、分布位置が気になる子どもや配慮を必要とする子どもの確認等を行うことで、学級の分析も詳しく行うことができます。どの先生方もアンケート結果をもとに、真剣に考えられています。



学級の子どもたちの実態や学級の集団の状況を把握していく中で、自然と、学年やグループでの話し合いになっています。昨年も実施されており、その比較や違った立場からの見方などを話されています。一人一人の子どもたちへの指導のつながり、先生方同士のつながりを感じることができます。



休憩時間にも、結果をもとに近くの先生たちと話し合われています。自分のクラスのことだけでなく、アンケート結果をもとに共有した話し合いができます。結果を解釈することや適切な手だてと一緒に考えることが、大変意義深いものとなっています。

講師の樋渡先生に積極的に質問もされています。「なるほど、そういうことだったんですね。」「そういうふうにとらえるんですね。」などつぶやいておられます。また違った観点からの学級の実態を把握されたようです。

「Q - U」の結果を日常の観察とあわせて活用することによって、また違った角度から子どもを見つめ直し、さらに個々の子どもたちの理解を深めることにつながる大変有意義な研修会でした。調査結果を活用することで、担任・養護教諭・級外の各立場からも、より子どもの側にたった実態に迫った話し合いができて、学級経営や生徒指導に対する先生方の意識の活性化につながるのではないかと感じました。子どもたちへの対応方法が深まるだけでなく、先生方同士のつながりも深まり、さらに充実した教育実践が行われることだろうと確信いたしました。

教頭先生とお話する中で「嬉野小学校は、先生たちに恵まれています。」という教頭先生の言葉がとても印象的でした。あらためて、嬉野小学校の魅力にふれることができたようで、私も幸せな気分になりました。すばらしい研修会に参加させていただきありがとうございました。